



版画 「山行」 菅谷 幸則



宮崎県版
No. 318

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
宮崎県本部
〒880-0031
宮崎市船塚 3-193
電話 0985(26)4224
FAX 0985(20)3154
郵便振替口座
02070-9-11382

私たちの運動の基本

- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 一、治安維持法体制の復活に反対すること
- 二、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
- 三、国は治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償をおこなうこと

俳句ブームと「反戦俳句」

― 柏原和男のことなど

南 邦和

俳句ブームである。TBS系のテレビ番組で毎週放送されている「プレバト」には、有名タレントが登場して「この人が、こんな名句を・・・」という意外性が評判となっている。もともとこの〈五・七・五〉のリズムは、日本人が先祖から承継いできた民族的DNAに由来するものだとも言える。「コトバ遊び」として子供から大人までが身につけている庶民的な文学形式なのである。「コノ土手ニノボルベカラス警視庁」これは明治時代の警告文であるが、〈五・七・五〉の韻を踏んでいる。

しかし、この俳句に受難の時代があったことは記憶されていい。悪名高いあの「治安維持法」の時代、「俳句」を作るそのこと自体「非合法」とされた、思想統制の時代もあり、国家の眼を盗んで「俳句」を作った多くの俳人たちが獄につながれるという不幸な現実が、この日本

国で罷り通っていたことも、歴史的な事実として学んでおくべきことだと思ふ。

手と足をもいで丸太にしてかえし
万歳とあげて行った手を大陸に
稼ぎ手を殺し勲章でだますなり

すでによく知られている川柳作家鶴彬の「反戦句」

である。同じ「五・七・五」の詩形を持つ「俳句」と「川柳」の垣根をどこに設けるかについては議論のあるところである。(俳句の中にも季語や字数にこだわらない「自由律」の流派がある)が、「川柳」は風刺や時事や人事に重点がおかれ、ストレートに思想を表現できる詩法でもある。

昭和史のまん中ほどにある血潮

小田島花浪

「治安維持法」による組織的な俳句弾圧事件として、
〈昭和史〉の暗部として今に語り伝えられているのが、「京大俳句事件」である。当時の俳壇は、正岡子規を頂点とする高浜虚子主宰の「ホトトギス」が主流であったが、アンチ・ホトトギスの旗を掲げて旧来の俳壇に抵抗を示したのが「京大俳句」であり、その中心は京都大学医学部から兵庫県立精神病院の医局長に転じていた俳人平畑静塔であった。

この「京大俳句」の活動を、「国家総動員令」下にお

ける「反国家的文学活動」と決めつけ摘発したのが京都府警察特高課であった。昭和十五年のことである。平畑静塔の逮捕を端緒として「京大俳句」の同人は勿論のこと、その周辺にあった有名無名の俳人たちが、次々と特高の「餌食」になっていったのである。その中の一人に西東三鬼がいる。すでによく名前の知られていた俳人である。

機関銃眉間に赤き花が咲ク

砲音に鳥獣魚介冷え曇る

泥濘の死馬泥濘と噴きあがる

三鬼の「戦争俳句」である。この頃(支那事変当時)「ホトトギス」の俳人たちは好んで戦争讃美の俳句を作っている。三鬼自身「戦争俳句は大いに詠むべし」と主張しているが、以上の三句を「反戦俳句」と見るべきか戦場のスケッチと見るべきか、意見の分かれるところだろう。(三鬼は起訴猶予処分となっている)

以下次号に続く



『野に咲く竜胆』



『上から楽しむ竜胆』

最高裁判事・・・「池田 克」について(2)

野崎 眞公

敗戦にともなう日本の政治は、GHQと妥協する反共・反動政府によって、実にあからさまな国民・労働者への圧迫、弾圧、謀略による支配体制(首切り合理化)の維持に狂奔したといっている。その事例・謀略事件が、①下山事件(1949.7.5)、②三鷹事件(1949.7.15)、③松川事件(1949.8.17)である。(①国鉄総裁下山貞則が、7.5行方不明。7.6常磐線綾瀬駅付近で轢死した死体で発見。真相は不明であるが、吉田内閣の国鉄職員大量整理発表直後のことであり国鉄労組員に嫌疑が向けられた。②中央線三鷹駅で、無人列車が暴走し死者6名と13名の重軽傷者を出した。共産党員9名、その他1名が犯人とされたが、党員の共同謀議は「空中の楼閣」として無罪となった。③本文参照)。

▲松川事件が起こった福島県は、「労働運動が活発で、共産党勢力の強い地方であった。そのためアメリカ占領軍から特に厳しい圧迫を受けていた。ストライキ労働者の軍事裁判(電産猪苗代発電所)、労働組合や共産党に対するスパイ活動、幹部に対する脅迫などがあいついでいた。のちに松川事件の被告とされた鈴木信や武田久は、党員の国鉄幹部としてたびたびアメリカ軍政部に呼び出され

「軍事裁判にかけろ」「沖縄へやるぞ」と脅迫されて、いわばなじみの間柄であった。(松川十五年)眞実の勝利のために」松川事件対策協議会・松川運動史編纂委員会編 松川運動記念会1989年8月25日) ▲松川事件裁判は、1959年8月10日仙台高裁に差し戻され、やり直し裁判(裁判長 門田実)が行われ被告全員に無罪が言い渡された。国側による最高裁への再上告は却下され、元被告らによる国家賠償要求裁判では、一、二審とも国が敗訴。1963(昭和38)年9月12日、無罪確定の判決が出された。弁護団は「松川事件の権力犯罪」を発表した。以上、権力が仕組んだ政治的謀略事件の概略である。▲東西冷戦下・ソ連封じ込めを梃子にして、アメリカは日本を東アジアの「反共の防波堤」として、またアメリカの同盟国としての役割を担わせるべく、マッカーサーに指示。(1949年7月4日、マッカーサーは米独立記念日に、「日本は共産主義進出の防壁」との声明をだした)。「日本は共産主義進出の防壁」との声明をだした。時の吉田茂首相は、GHQとの妥協を余儀なくされつつ米政府の思惑どおりに、日本の「安定と自治」を名目にアメリカへの従属を深めていったのはご承知のとおり。▲「池田 克」の話にもどそう。池田克が最高裁判事として復活するのは、1954年、時の民自党吉田茂内閣のときである。あしかけ10年間最高裁判事の職にあり、1963年退官した。池田克は松川事件で悪名を高めたが、もう一つ忘れてはならないのは

公務員労働者のストライキ権問題である。

ストライキ権は憲法でされている労働者の民主的権利であるが、一方この権利を制限する違憲問題として世論の注目をあびていた。▲池田克がかかわった悪行（裁判）をあげる前に、彼の略歴を記しておく。池田 克（1893～1977）静岡生まれ。1917年東大法学部卒。兄は内務官僚・池田宏。1927年、司法省刑事局「思想部」の初代部長。その後東京地裁検事正、刑事局長、大審院検事局思想部長などを歴任。常に中枢にいて「思想検察」を確立し、治安維持法改正にも深くかかわった。1945年名古屋控訴院検事長を経て、大審院検事局長。1954年最高裁判事に任命された。（『思想検事』荻野富士夫著）

つづく

『短歌』

◎コロナ禍の巣籠りタイム積読の

「額瀨弥三の軌跡」読み切る

◎特高のお偉方らが敗戦後

五十四人も代議士だとは

◎人事権手繰り溺れの権力者

いまや支えてくれる者なし

黒木 利忠

お礼とお願い

会員また協賛者の皆様、日頃のご協力ありがとうございます。前回の署名用紙配布に対し、ご多用のなか川南町の内藤さん他の方から『署名』を送って頂きました。

映画「わが青春つきるとも」への募金も民医連さんから頂きました。すでにご協力いただいた方々も、次回のサポーターの会ニュースでお知らせいたします。今後活動充実に向けて力を合わせていきましょう。

マスコミによる政治ジャックを許すな！

投票に行きましょう！

危機感も責任感も反省もない菅首相
内閣支持率は26%と最低を更新

直ちに国会を召集し国会での議論によって打開の方途を明らかにと、憲法53条に基づく野党の臨時国会召集要求を、政府、自民党、公明党は拒否。

あげく菅首相は政権を投げ出し、新聞やテレビは、あげて後継者選びに飛びつき、安倍・菅を支えてきた人物を追いかけています。これまでの検証もなく、マスコミはその機能を放棄していると思います。これは国民の目・耳・口を塞ぎ、今の政権を永続させる、マスコミによる政治ジャックだと思います。

野党四党は、連合政権の政策を発表しています。私たちは、共産党を含む連合政権を樹立させ、歴史の歯車を前に押し進めましょう。

To